

笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施

たぶせ

THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

# 議会だより

第109号



題字は岸信介先生書

2011年(平成23年)4月22日

発行/〒742-1592 山口県田布施町大字下田布施 田布施町議会 ☎0820(52)5800 FAX0820(52)5970

編集/議会広報広聴調査特別委員会 印刷/キッショウ株式会社

<http://www.town.tabuse.lg.jp/> E-mail:gikaijimukyoku@town.tabuse.lg.jp



新議会構成決まる 2P

3月定例会 4P

一般会計 54億8,900万円

連合審査会 8P

総合計画議決

議会傍聴記 18P

# 議長に谷村氏、副は林山氏

## 2月28日の臨時会で新議会構成決まる

2月28日に新しい議会構成を決める臨時会が開催され、谷村善彦議員を議長に、林山健二議員を副議長に、それぞれ選びました。

また、総務文教、経済厚生、議会運営の3常任委員会、議会運営委員会、議会広報広聴調査特別委員会の構成と正副委員長の互選、さらに、一部事務組合の議員等を選びました。



総務文教委員会

議長

谷村 善彦

副議長

林山 健二

総務文教委員会  
委員長 石田 修一  
副委員長 畠中 孝

委員

高川 喜彦  
向井 恒夫  
藤山 巖  
河内 賀寿

監査委員

向井 恒夫

経済厚生委員会  
委員長 清神 清  
副委員長 國永美恵子

委員

林山 健二  
木本 睦博  
西本 敦夫  
岡崎南海子

農業委員

清神 清



経済厚生委員会

議会運営委員会

委員長 林山 健二  
副委員長 石田 修一

委員

清神 清  
西本 敦夫  
國永美恵子  
藤山 巖



# 就任のあいさつ

## 開かれた議会を目指し

議長 谷村善彦



このたび議長に選任され、あらためて責任の重さを痛感しております。今回の震災により犠牲になられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を衷心より願っております。今年、第5次基本計画スタートの年です。明るく住みよい田布施町を構築していく事が、私たちの使命です。議会不要論がささやかれる今日、予算・条例等の決定、執行部の監視だけでなく、町民の皆様と対話、議論し、政策に反映させる開かれた議会を目指します。

## 安全安心の町づくり

副議長 林山健二



2月臨時議会において、副議長に選任され身の引き締まる思いです。議長を補佐し、一生懸命努める所存であります。

先ごろの東日本大震災において、犠牲となられた方々に哀悼の意を表す

るとともに、被災され現在も避難所生活をおくられている方々に心よりお見舞い申し上げます、一日も早い復興をお祈り申し上げます。これを教訓とし、本町の「安全安心」の町づくりを強固なものとするため、町民、行政、議会が一体となって早急に防災対策に取り組まなければなりません。ご理解ご協力をお願い申し上げます。

### 一部事務組合議会 議員

#### 周東環境衛生組合

清神 清  
畠中 孝

#### 熊南総合事務組合

國永美恵子  
木本 睦博  
林山 健二

#### 田布施平生水道企業団

國永美恵子  
石田 修一  
林山 健二

#### 光地区消防組合

石田 修一

#### 柳井地域広域水道企業団

高川 喜彦

### 付属機関等の委員

#### 民生委員推薦会委員

林山 健二  
清神 清

#### 都市計画審議会委員

石田 修一  
木本 睦博  
河内 賀寿

畠中 孝  
谷村 善彦

#### 環境美化対策推進協議会

委員 木本 睦博

#### 社会教育委員

河内 賀寿

#### 高齢者保健福祉推進協議会

委員 清神 清  
國永美恵子

#### 人権教育推進協議会委員

木本 睦博

#### 交通安全対策協議会委員

藤山 巖  
西本 敦夫  
岡崎南海子

#### 環境審議会委員

清神 清  
西本 敦夫  
畠中 孝

#### 土地開発公社理事

谷村 善彦  
藤山 巖  
河内 賀寿  
岡崎南海子

#### 施福会理事

谷村 善彦

#### 観光協会理事

林山 健二

### 議会広報広聴調査 特別委員会

委員長 高川 喜彦  
副委員長 國永美恵子  
委員 石田 修一  
清神 清  
岡崎南海子  
河内 賀寿



# 23 年度当初予算

## 3 月定例会

# 一般会計は54億8,900万円

### (前年比 6.9%減)



本 会 議 (3 月 9 日)

平成 23 年 3 月定例会は 3 月 9 日から 14 日間の日程で開催され、今年の予算と町の総合計画、富田辰也氏を副町長に選任などを決めました。

本定例会では、町長提出議案の平成 23 年度当初予算 5 件、平成 22 年度補正予算 7 件、条例 6 件及びその他 6 件の合計 24 件を審議しました。

なお、初日の本会議では、7 人の議員が一般質問を行いました。

### 町長提出議案

### 23 年度当初予算

### 一般会計

予算総額は 54 億 8 9 0 0 万円、前年度の当初予算に比べ 6.9%、4 億 8 0 0 万円の減額となっています。

### 《歳入》

町税は、個人町民税が、

所得の改善が見通せない状況で、前年度当初予算に比べ、0.2%、3 9 0 万 2 千円の減となる 16 億 6 6 0 1 万 8 千円を計上しています。

地方交付税は、前年度に比べ 1 0 0 0 万円の減額となる 18 億円を計上しています。

国庫支出金については、子ども手当が増額となったものの、麻郷小学校校舎改築事業が減となり前年度に比べ 0.8%、4 4 5 万 6 千円の減額となる 5 億 7 7 2 4 万 1 千円を計上しています。

県支出金は、地球温暖化対策に係る県の基金事業の完了等により、前年度に比べ 1.9%、7 7 8 万 2 千円の減となる 3 億 9 6 7 4 万 2 千円を計上しています。

町債は、麻郷小学校校舎改築事業等により教育

債が大幅減となったこと等により、前年度比 41.6%、3 億 9 6 5 0 万円の減となる 5 億 5 7 4 0 万円の計上です。

なお、地方交付税の振替である臨時財政対策債については、前年度より 2 5 0 0 万円減となる 3 億 9 0 0 0 万円を計上しています。

### 《歳出》

総務費は、庁舎整備工事や統計調査費等の減により、前年度に比べ 1 9 2 2 万 5 千円減額の 6 億 8 2 9 5 万 1 千円の計上です。

民生費は、保育所耐震補強整備事業費が減額となったものの、障害者自立支援事業費や子ども手当等の増により、前年度に比べ 1 4 6 2 万 8 千円増額の 16 億 9 8 3 3 万 5 千円を計上しています。

衛生費は、ワクチン接種事業等により、前年度に比べ 1 2 4 8 万 9 千円増額の 4 億 6 4 2 0 万 6 千円の計上です。

農林水産業費は 1 億 7 0 4 0 万 3 千円の計上で、新たに国庫補助事業とし

て、尾津漁港海岸保全事業費 5 0 0 0 万円を計上しています。

土木費は、雨水対策事業等が増となった反面、町道改良事業や県事業負担金が減となり、前年度に比べ 1 3 0 1 万 8 千円減額の 4 億 5 8 1 9 万 4 千円を計上しています。

教育費は、麻郷小学校校舎改築事業費の減により、前年度に比べ 35.4%、4 億 2 9 6 3 万 9 千円の大減となる 7 億 8 2 5 5 万 9 千円を計上しています。

### 【賛成多数】

### 国民健康保険特別会計

一般被保険者に係る療養給付費等の増額が見込まれることから、前年度比 8.0%、1 億 3 1 8 8 万 8 千円増額の 17 億 8 4 2 1 万 5 千円の計上です。

### 【賛成多数】

### 下水道事業特別会計

昨年度に比べ 2 8 8 3 万 7 千円増額となる 7 億 3 4 1 2 万 2 千円を計上しています。

### 【賛成多数】

介護保険特別会計

居宅介護や施設介護サービス給付について増額が見込まれるため、前年度に比べ4402万1千円の増額となる11億911万8千円を計上しています。

【賛成多数】

後期高齢者医療特別会計

保険料の減により前年度比663万8千円減額の2億33万6千円を上上げています。

【賛成多数】

22年度補正予算

一般会計(第5号)

歳入歳出それぞれ1775万8千円増額して、60億5000万円とするものです。

《主な歳入》

法人町民税 3000万円増  
国庫支出金 245万4千円減  
県支出金 737万1千円減  
繰入金 448万円増  
町債 800万円減

《主な歳出》

基金積立金

5000万円増  
子ども手当 3000万円減  
農道整備事業県負担金 278万3千円減  
道路改良事業県負担金 400万円減  
麻郷小学校整備事業 384万4千円増

【賛成多数】

一般会計(第6号)

予備費より300万円、東北地方太平洋沖地震災害見舞金として支出するものです。

【全員賛成】

特別会計5件

いずれも事業内容確定又は見込額に伴う所用の補正です。

【賛成多数】

条例

町長等の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例

町長の給料月額15%、副町長及び教育長の給料月額10%を減額し、期末手当の減額は行わないとするものです。

【全員賛成】

田布施町職員の給与に関する

条例の一部を改正する条例

職員の給与から控除できるものの規定を整理するものです。

【全員賛成】

田布施町防災会議条例の一部を改正する条例

条文整理を行うものです。

【全員賛成】

田布施町高齢者いきいき館の設置及び管理に関する条例

複合施設として設置してきた「ふれあいプラザ田布施」を「高齢者いきいき館」と「地域交流館」の2つの公の施設として設置、管理しようとするものです。

【賛成多数】

田布施町地域交流館の設置及び管理に関する条例

前記の趣旨と同様ものです。

【賛成多数】

田布施町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

ふれあいプラザ田布施の設置、管理の条例廃止に伴う規定の整理及び公民館分館に関する使用料規定の追加を行うものです。

【全員賛成】

その他

田布施町基本構想の策定について  
田布施町基本構想を策定しようとするものです。

【賛成多数】

田布施町基本計画の策定について  
田布施町基本構想に基づく田布施町基本計画を策定しようとするものです。

【賛成多数】

山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について  
共同処理する団体に光市を加えるものです。

【賛成多数】

副町長の選任について  
富田副町長の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任するものです。

【全員賛成】

情報公開審査会委員の委嘱及び個人情報保護審査会委員の委嘱  
任期満了に伴い、中坪清氏、南一成氏、岡村明美氏、藪本知二氏及び塩田和子氏を引き続き選任するものです。

【全員賛成】

臨時会

(2月10日)

《主な歳出》

情報通話基盤整備基本計画策定委託料 507万2千円  
食料自給率向上・産地再生緊急対策事業 1億917万2千円  
公民館耐震補強工事等 4842万円

【全員賛成】

条例

田布施町地域活性化基金  
地域活性化交付金等を活用した事業の財源に充てるため、田布施町地域活性化基金を設置するものです。

【全員賛成】

その他

工事請負契約の締結  
麻郷小学校校舎棟改築工事です。  
時盛建設・高月工務店  
特定建設共同企業体が公募型指名競争入札で落札、契約額4億8510万円、工期は平成23年10月31日までです。

【全員賛成】



臨時会 (2月10日)

町長提出議案

22年度補正予算

一般会計  
歳入歳出それぞれ1億7331万6千円を増額して60億3224万2千円とするものです。

《主な歳入》

地方交付税 2636万1千円増  
国庫支出金 4753万5千円増  
県支出金 9942万円増

《主な歳出》

9942万円増

# 委員会レポート

## 予算審査特別委員会

### 平成23年度一般会計当初予算

# 住みよさ山口県一のまちづくり

## 公共施設の耐震化等当面する政策課題に取り組む

### 将来負担率は県下ワースト2位の172.6%

平成23年度一般会計当初予算の審査を行うため議会の議決により予算審査特別委員会が設置され、全議員で特別委員会を構成して3月11日開催し審査しました



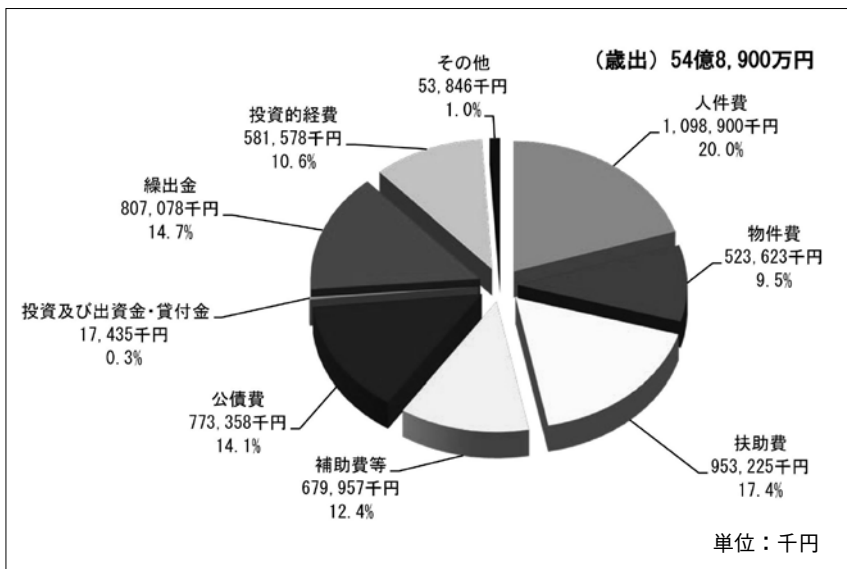
麻郷小学校完成予想図

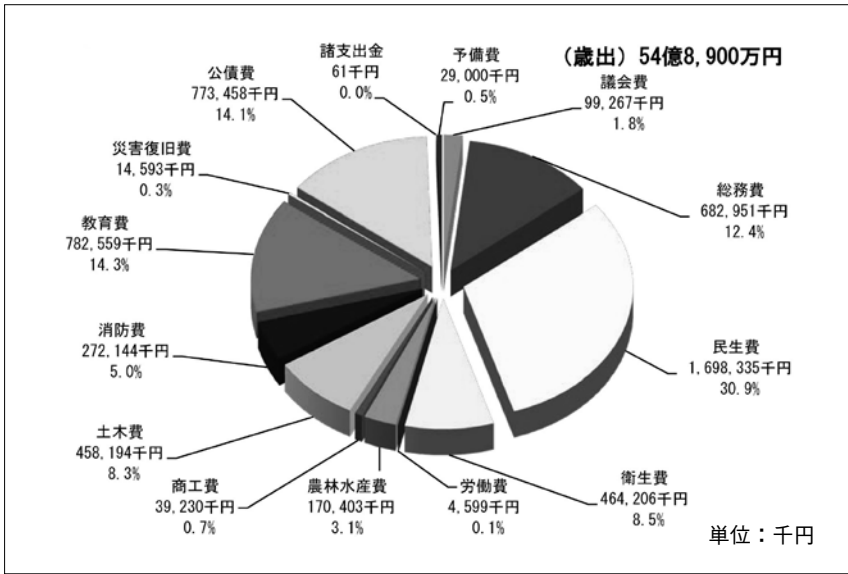
長信町長は、3月定例会で、平成23年度の行政運営について「町民生活の維持、向上、将来への発展、そして『住みよさ県一のまちづくり』に向けて堅実かつ積極的な行政運営を進めたい」と述べました。そして今年には「第5次田布施町総合計画」の初年度であり、計画に掲げた政策課題に財源見通しを立てながら取り組むとし、

## 麻郷小学校は今年10月に完成

- 1 農業基盤整備一国営緊急農地再編整備事業推進
- 2 公共施設耐震化推進
- 3 当面する課題等への迅速な対応、の3点を示しました。

本町では、平成17年10月に策定した「田布施町緊急財政再生プラン」に基づき財政改革に取り組みました。これにより改善は図られたものの、実質公債費比率は県下ワースト3位の18.7%、将来負担率は県下ワースト2位の172.6%となっています。





# 財政健全化を目指した

## 実質公債費比率は18・7%

本年度の当初予算は、財政の健全化を目指し、効率的、効果的な事業発展を図る、としています。本町では、このところ麻郷小学校改築事業や

子ども手当の増額など大きな支出がありますが、本町の適正な予算規模は、51、52億と言われ、借金までして大型予算を編成せず、身の丈に合った事業展開をすることが望まれます。町債と債務負担行為合計137億3900万円、基金残高7億991万円、経常収支比率92・1%。

## おもな質疑 Q&A

### 子ども手当の支給方法

Q 子ども手当の支給方法は、また、町の負担は。

A 支給は年3回、6月、10月、2月。町の負担は児童手当のときと変らない。

### 調整港の利用収入減

Q 調整港の利用収入が減

り続けているが、料金と設備を考えたらどうか。

A 今、特に対策は考えていない。多くの人に利用してもらいたいのでPRも必要だと思っている。

### 農用地の無断転用

Q 農用地の無断転用はどう把握しているのか。

A 固定資産については、1月1日の現況で課税する。土地登記の異動や、建築確認などで把握し、現地確認も行う。農用地の転用を確認するのは難しい。

### 町政モニターとは何か

Q 町政モニター制度とは。

A 町政に対していろいろなご意見、ご提言をいただくため各小学校区2名、全町で10名のモニターを委嘱する事業。

### 岩国錦帯橋空港の利用促進とは

Q 岩国錦帯橋空港利用促進協議会への負担金はどういうことか。

A 岩国錦帯橋空港の利用促進と東部地域の活性化

を目的に結成された民間と自治体合同の協議会であり、田布施町もこれに参加している。

### 麻郷児童クラブ

Q 麻郷児童クラブの建設は小学校と同時ではないのか。

A 小学校改修工事と児童クラブの建設は補助金が違い同時建設は出来ない。



現在の麻郷児童クラブ

### 成年後見人とは

Q 成年後見人報酬が予算化してあるが、成年後見人とは。

A 成年後見人とは、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方に代わり、家庭裁判所の選任により、財産管理や契約など法律行為を行う人。

### 教育振興費

Q 教育振興費で支援員報酬を組むのはいかがか。また、歳入はあるのか。

A 今年度限りと思う。出来るだけ35人学級にした。県補助金が2分の1入る。

### 過誤納付還付金とは

Q 過誤納付還付金とは。A 法人税等納めすぎに対して還付するための予算。

### 高齢者いきいき館

Q 高齢者いきいき館について、地域交流館への管理委託をやめパート賃金まで組んで、なぜ今やるのか。

# あふれる住みよいまち田布施

## 第 5 次田布施町総合計画を審査

### 協働によるまちづくりの共通指針

第5次総合計画は、連合審査会で全議員出席のもと慎重に審査が行われました。田布施町議会には、総務文教委員会と経済厚生委員会がありますが、総合計画は、両委員会に総合的、横断的に関係することから、両委員会合同で議案審査を行いました。

#### 総合計画 策定の目的

総合計画は町政運営の基本方針であり、「最上位計画」と位置づけられています。また、協働によるまちづくりのための共通の指針となります。

基本構想、基本計画、実施計画からなり、基本構想は10年、基本計画は、前期5年、後期5年、実施計画は3年の計画でローリング方式により見直し、更新することになっています。

#### 基本理念 「住みやすさ」

田布施町のまちづくりの基本理念を新しい時代に対応したまちづくり

仕組を整えながら、誰もが笑顔で暮らせ、また元気に暮らせるまちの将来を創造していくとして

「笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施」としています。

#### まちづくりの 基本目標

- 1 安心・安全なまち
- 2 健やかで思いやりのあるまち
- 3 豊かで活力のあるまち
- 4 快適な生活環境のまち
- 5 元気で心豊かな人が育つまち
- 6 計画の推進に向けて

#### 目標人口

若者定住対策等積極的に進めることにより人口

減少の抑制を図り、平成32年の目標人口を国勢調査ベースで15,300

#### ○目標人口の想定

27年の目標人口=27年の推計人口+約120人

32年の目標人口=27年の推計人口+約150人

	推 計		目 標	
	27年	32年	27年	32年
国勢調査人口 (A)	15,677人	15,151人	15,800人	15,300人
住民基本台帳人口 (B)	16,053人	15,514人	16,200人	15,700人
B/A	1.024	1.024	1.025	1.026

人、住民基本台帳人口で15,700人としていきます。

#### 土地利用の構想

国土利用計画、町都市計画、農業振興地域整備計画、森林整備計画を策定して、計画的で適正な土地利用をはかっています。

### 想定外か 福島原発

### Q&A

Q 安全安心な町について、原発の事故が起きた。想定外の災害については。

A 行政として対策をたてていかなければならない大きな課題だ。

Q 千年に1度の災害だ。どうするか対策を講じる必要がある。防災無線も再考を。

A しっかりと検証していく。

Q 町中央部の冠水状況を県に知らせ、対策を働きかけたら。

A これからも要望活動を実施していく。

Q 議員の意見の扱いは。

A 町長他担当課長で検討している。尊重した。

Q 消費者保護をもっと強調しては。

A 基本計画に入っている。



# 笑顔と元気



連合審査会 (3月14日)

## 連合審査会

### 基本計画も議決事項に

第5次総合計画は「基本構想」と「基本計画」から成り立っています。地方自治法では、基本構想は町議会の議決事項とされていますが、通常は住民の間に議論を呼ぶ

ような重要な懸案課題は抽象的な表現にとどめて、実質的な内容はその具体化のために策定される議決不要の基本計画にゆだねているところが多いと言われています。田布施町議会では、住

民に身近な「基本計画」が議会の議決事項でないことは法律の不備であることを指摘、平成12年に「基本計画を議決事項とする条例」を定めました。この条例に基づいて第5次総合計画は、「基本構想」と「基本計画」の両方を連合審査会で審査したものです。

総合計画策定には、まちづくりアンケートを実施するとともに、策定検討委員会を設置して教育、福祉、産業、環境等の有識者や住民代表者が参加して意見や要望を述べ、さらに議会では議員が田布施町に必要な計画を提言して充実を図り、成案となったものです。

## 電源交付金を見込んでの計画か

### Q&A

Q 電源立地地域対策交付金を見込んでいるのか。

A 見込んでいない。

Q 保育所の入所が少ない

A 保育所の入所が少ないが対策は。

A 幼保一元化を国が進めている。制度改正の状況を見ながら対応する。

Q 保健センターの建設は

A 保健センターの建設はいつか。

A 今後、実施計画の中で予定する。

Q 老人福祉施設への入所待機者は

A 老人福祉施設の入所待機者はどのくらいいるのか。

A 100名前後。実数かどうかはわからない。

Q 有害鳥獣被害対策

A 有害鳥獣被害対策に猿の対策を、また、山の整備に竹林対策を要望。

A 要望は受け止める。計画にのらなくても対応する。



箱わなで捕獲されたイノシシ

A ルテレビ導入は。情報通信基盤整備計画の中で検討していく。

Q 町道整備とは場整備

A 町道整備をほ場整備に絡んで行うことはないのか。

A 協議しながら進めていく。

Q 町営住宅の集約化

A 町営住宅の集約化は好ましくない。

A 住宅ストック活用計画に沿って整備していく。

Q 岸・佐藤記念館

A 岸・佐藤記念館について検討とは。

A 郷土館と分離して建設したい。

Q 一部事務組合事業をもっと効果的に

A 単独町制を維持し、一部事務組合に9億円余り支出しているが、もっと効果的な事務事業を。

A 関係市町と連携を密にし、議会の協力も得て対応していく。

Q 空家バンク

A 空家バンクはどうなったのか。

A 1軒ホームページに載せているが、難しい。

Q 光ファイバーの布設は

A 光ファイバーやケーブル

# 総務文教委員会



総務文教委員会 (3月17日)

総務文教委員会は3月16日に開催し、平成22年度一般会計補正予算審査、条例の一部改正4件、町総合計画の基本構想、基本計画等3件を審査しました。

## 平成22年度一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ1775万8千円を追加し総額60億5千万円とするもの

【全員賛成】

Q 火災警報器の設置状況は。

A 町営住宅にはすべて設置した。

Q 草刈業務委託料なぜ減額したのか。



試掘調査

A 平成22年度当初予算で、ほ場整備予定地域内の埋蔵文化財試掘調査場所の草刈を予定し組んでいたが、平成23年度でも使えるので、社会教育費に組み替えた。

Q 予防接種委託料221万円の減額は何か。

A 低所得者対策のインフルエンザ予防接種が見込みより少なかった。

Q 財産収入の土地売却いで、赤線を自治体が売っても良いのか。

A 赤線は国から譲渡されており、町の財産となっている。所有は町、管理は地元。利用されていない赤線について、払い下げの要望があり関係者の同意が得られれば売っている。

Q 周東環境衛生組合に対する負担金581万9千円の減額は何か。

A 周東環境衛生組合が行った施設の改修工事などの入札減によるもの。

### 条例審査

A 町長等の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成】

町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成】

町防災会議条例の一部を改正する条例

【全員賛成】

使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

【全員賛成】

町総合計画基本構想の策定について

【全員賛成】

町総合計画基本計画の策定について

【全員賛成】

山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について

【全員賛成】

### 総務文教委員会における賛成討論

基本計画の推進について

・行政、議会、町民が一体となつてこの計画の実現にあたる。ミニ版を作成、各戸配布したらどうか。

・評価するが縦割り行政では実行できない。是非推進体制を整備していただきたい。

### 本会議における反対討論

岸・佐藤記念館建設検討に反対

岡崎南海子  
議案第23号田布施町基本計画について反対意見を述べる。

4 「文化施設の整備」として、「岸・佐藤記念館を建てることを検討。」とあるが、これに反対する。ご賛同よろしくお願います。

岸・佐藤の過去の栄光を「七光り」に利用する政治家の存在が町民を不幸にする。記念館造りがこの傾向に拍車をかけて町民の不幸を大きくする。

また、記念館造りのお金で町営住宅を建ててほしいと思う。町営住宅は減らす傾向にあるが、むしろ増やさなければいけない現状である。  
以上のような理由で反対する。よろしくお願います。



# 経済厚生委員会

経済厚生委員会 (3月16日)

経済厚生委員会は3月16日に開催し、平成22年度一般会計補正予算議定を調査。平成23年度特別会計予算関係4件、22年度特別会計補正予算関係5件、条例改正2件を審査しました。

## 23年度特別会計

### 国民健康保険

1億3188万8千円増額で17億8421万5千円

Q 国保税の滞納はいくらになっているか。

A 平成21年度末で7,800万円。

Q 滞納者に対する差押えなどはやっているのか。

A 収納対策室で行っている。

### 下水道事業

【全員賛成】

2883万7千円増額で7億3412万2千円

### 介護保険

【全員賛成】

4402万1千円増額で11億911万8千円

【全員賛成】

### 後期高齢者医療

663万8千円減額で2億33万6千円

【全員賛成】

## 22年度

### 一般会計補正予算調査

1775万8千円追加6億5千万円

Q 県補助金で水道事業高料金対策費補助金が200万円余り増額補正されているか。

A 国の水価と町の水価との差を補助。

Q スポーツセンター身障者トイレ設置はなぜ減額となったのか。

A 当初、第1体育館外に設置する予定だったが、中のシャワー室を改修し設置することにしたため安くなった。

Q 高齢者いきいき館の施設予約はどうなるのか。

A ホームページから予約できるようにする。

【全員賛成】

22年度特別会計補正予算

国民健康保険

7486万5千円追加18億5726万1千円

Q 収納率は95%にいくのか。

A 努力する。

### 老人医療

【全員賛成】

53万8千円追加

454万1千円

【全員賛成】

### 下水道事業

208万1千円減額7億810万1千円

Q 受益者負担金の減額は。A 調定額の減額分。

【全員賛成】

### 介護保険

2245万7千円増額11億1399万3千円

【全員賛成】

### 後期高齢者医療

1080万5千円減額1億9616万9千円

【全員賛成】

## 条例審査

高齢者いきいき館の設置及び管理について

【全員賛成】

地域交流館の設置及び管理について

Q 高齢者いきいき館と地域交流館の境は。

A エントランス部分の区画は考えていない。邪魔

にならないよう指導する。

Q 駐車場は今までどおりか。

A どちらが使ってもよい。

新しく造る駐車場は身障者専用だ。

【全員賛成】

## 本会議における反対討論

### 行財政改革に逆行

藤山 巖

私は、議案第19号「田布施町高齢者いきいき館の設置及び管理に関する条例」に反対し、意見を述べさせていただきます。

内容は新規事業は少なく曖昧模糊で、既存事業の移譲にすぎない大雑把な計画である。

現在の委託運営は、格段の支障もないどころか、財政や住民サービス面等から極めて的を射た行政運営といえる。にも拘らず一部住民の苦情対応策として、急場しのぎに設置しようとする拙速な本条例は、昨今の本町の行財政改革に伴う行政の省力化に逆行する措置と言わざるを得ない。

この事により本町では、平成23年度当初予算に370万円余りの経費を計上し、24年度以降は毎年度213万円余りの予算計上を余儀なくされる。しかも、独立後の「高齢者いきいき館」の事業計画では、今の年中無休開館の使用から、週5日の開館となり、土曜、日曜は休館となる。事業内

議員各位におかれましては、良識ある判断でご賛同いただきますようお願い申し上げます。



3 月定例会  
一般質問

# 総合計画の実現等を質す

電源3法

交付金の配分額は

畠中 孝

15億6,800万円 長信町長



畠中 孝 議員

**Q** 国の電源3法による電源立地地域対策交付金の配分が決定した。①本町への配分額はいくらか。②この交付金に対する町長の考えはいかがか。③これを有効活用する場合どのような事業が考えられるか。④交付の時期と計画内容について町民地域の意見を求めるか。

**A** ①15億6,800万円である。②住民福祉、地域活性化を図っていく。③公共施設の整備の促進や地域住民の福祉の向上のための事業等に充てる。④現時点では県からの配分額と24年度からの交付方針が示されたのだが、町民の意見を反映した事業計画にする。

## 第5次総合計画

基本構想・目標は 畠中

地域情報化を 町長



光通信網が急がれる町中心部

## 第5次総合計画

高齢者の移動手段等は

畠中

確保に努める

町長

**Q** ①私は過去に一般質問で取り上げた。近い将来たくさん的高齢者が買い物や通院のための移動手段を求める時代がやってくる。町長の考えは。②12月定例会で「光通信

網の基盤整備」について尋ねた。予算的にも実現可能な環境が整いつつあるのではないか。

**A** ①福祉タクシーの制度の拡充や社会福祉協議会

**Q** 町長は第5次総合計画の策定にあたり基本構想で「田布施町のまちの将来像」について「基本理念」と「将来像」を語り、基本目標として「安心・安全なまち」「快適な生活環境のまち」等6つの項目を挙げている。「第4次総合計画」と比べてどういう特色をだしたのか。

**A** ①集中豪雨等への防災、交通事故等の防止を目指す②子育て支援や地域福祉の充実を目指す③地域情報化の推進等を目指す④美しいまちづくりの推進を目指す⑤健全な人間性や社会性を育てる教育の充実を目指す⑥以上の目標の実現に健全財政の確立を目指す

と連携し移動手段の確保に努める。今後の実施計画の中で、具体的に取組む。②財源確保が出来次第、光ファイバー網によ

る大容量の情報データを短時間に送受信できる超高速ブロードバンドの整備に取りかかる。



山口市のコミュニティーバス

上関原発

町民に説明、理解を 石田 修一

関係者に要請する 長信町長



石田 修一 議員



上関原発予定地（中国電力提供）

Q 県は電源立地地域対策交付金の配分額を発表した。地域活性化に

は有効な財源であることは確かだが、本町には原発に反対される町民が多

数おられると認識している。町長は反対派町民に対し説明、理解を求める努力が必要と思うが、どのように行動を起こされるのか。

A 原発建設に対し賛否両論があり、安全性に不安を抱いている方もおられるが、国の政策であり、国が建設及び操業の安全確保を事業者に対し、審査、監視、指導を厳重に行うべきである。町も安全への不安が解消されるよう、中電、国、県に対し説明責任を要請する。

第5次総合計画

上水道事業の改革は 石田

関係市町と協議する 町長



田布施・平生水道企業団

尾津漁港高潮対策

現況は 石田

平成23年度事業着手 町長

Q 本件の高潮対策事業については、本年より事業スタートの予定で、県に事業要望をしていると思うが現況を尋ねる。  
麻里府地域は平成3年の19号台風で高潮が発生し甚大な被害を被った。台風をまともに受ける尾津海岸の防潮壁の早期完成を強く望む。

A 平成21年度に予備設計及び費用対効果分析を行い、昨年5月、国に対して事業概算要求をし、本年1月、国に県を經由し事業実施要求を行った。

Q 第5次総合計画における財政健全化には、上水道事業の改革が重要だ。田布施、平生地区で一日9千トンの水が必要。現在、水道企業団は9千トンの水供給は可能だが、柳井広域水道より一日約5千トン購入し、年間2億円の無駄となっている。この改革が必要だ。  
A 平成12年度より弥栄ダムへの給水で水不足は解消されたが、柳井広域に支



道路にせまる潮位（尾津漁港）

国、県の内示待ちの状況だが、町は、本年4月から事業着手する方向で、平成23年度当初予算に係費用を計上した。

払う責任水量の受水費用が年間2億円以上必要となっており経営を圧迫している。現在両町で経営改革委員会を設置し、改革に取り組んでいる。柳井広域2市4町とも必要な協議を進めていく。

◎その他の質問  
○「麻里府小学校の統合計画について」

## 電源立地交付金

### すがり根性ではないか 岡 崎

国の施策である 長信町長



交付金で建設された  
福井県こども家族館

**Q** 原発の交付金は趣旨から事故を予測しているが、万一の時は補償もあるのか。交付金を出し原

発推進する国や県だが、事故の折には補償の助力はしないという話は本当か。また、原発以前に、

**A** 事故は無いと思うから国や県に補償の有無を問合せたことはない。国や県と町は別。また原発は国の施策にしたがっているだけ。町政に創造力は不要。あなたが他で創造的活動をすることは妨害しない。けれど忠告を受けたので補償や創造性の事をこれから考えたい。

**A** 学習指導要領において小学6年社会科や中学校会科の歴史的分野で、世界平和の大切さや、戦争



生きがい教室生と中学生の  
交流学習 (東田布施公民館)

**Q** 先の大戦が終って65年、戦争体験をされた方々は、皆高齢となり、それを児童・生徒に伝えていだける時間は、残り少なくなりつつある。ゆとり教育が終了し、時間を割くことも難しいでしょうが、多くの犠牲の上の平和と繁栄である事を、よく伝えてほしい。

が人類全体に惨禍を及ぼした事を理解させる事になっている。町内の高齢者の方々から、戦争体験やその他をお聞きしたりお尋ねすることは、大切にしていきたく考える。



岡崎南海子 議員

荒れていない

尾崎教育長

荒れているか

岡崎南海子

田布施中学校

**A** 田布施中は荒れていない。指導も行き届いている。建物や器物の破損もない。田布施中は今、国の研究指定校をいただきたい

**Q** 教育はすべての源と思うので尋ねたい。私が父兄だったころ田布施教育界は力の無い父兄からの苦情には仕返しをする様子があつた。同じ立場の子供らが今もいるかと案ずる。田布施中は荒れていない噂の真偽。防寒着について問う。子供らの創造性を尊重して欲しい。



登校する生徒

ていて、文科省や県教委の訪問を受けた。そのときお褒めの言葉を頂いたくらいによい学校です。防寒着の着用は条件を満たせば許される。



河内 賀寿 議員

大切だと考える

尾崎教育長

もっと伝えては

河内 賀寿

高齢者の戦争体験

### 浄化槽の法定検査

### 手数料の補助を

國永美恵子

現時点で考えていない 長信町長



國永美恵子 議員

**Q**平成21年度浄化槽法定検査実施状況によると、年一回行う11条検査受検率は本町の場合47%。受検率向上と住民負担軽減のため、水質検査手数料補助制度を立ち上げるべきではないか。

**A**町内には平成21年度末で、単独処理浄化槽1720基、合併処理浄化槽1181基の設置がある。法定検査は(社)山口県浄化槽協会が実施。浄化槽の水質検査手数料の補助制度は現時点では考えていない。

### 法定検査

浄化槽法により維持管理には2種類の水質検査が義務づけられています。

浄化槽の使用開始後、3か月から8か月以内に実施する検査(法第7条)と、毎年1回実施する定期検査(法第11条)です。

町が一括で検査を申し込めば手数料の割引き交渉も可能ではないか。

手数料について関係機関に話をしてみる。



合併浄化槽

### 農業共済組合

### どうなるのか

國永

### 田布施支所存続を要望 町長

**Q**昨年11月、農林水産省は道府県知事に農業共済団体における一県一組合の取り組み推進を通知。農業共済組合の統廃合の方向と共済組合田布施総合支所の今後を尋ねる。本町から移転すれば被害認定が遅れる等、支障が生じる。存続への働きかけも必要である。

**A**県内には、東部、中部、西部の三組合があり、その三組合が山口県農業共済連合会を組織する。国は一県一組合化の取り組みの推進を求めています。

### 農用地不法転用

### 町長の見解は 國永

### 無断転用あるべきでない 町長

**Q**ほ場整備事業は、国営県営を問わず、多額の税金投入が必要である。従って、事業終了後は優良農地としての利用が続くことが望ましい。

一般には転用が認められない。農用地区域から除外する必要がある。転用は農業委員会を経由し県知事の許可が必要。無断転用は無くさなければならぬ。あつてはならぬ事。ほ場整備を進める上で説明も行う。

**A**土地改良事業を実施した農地は農用地域となり、

◎「その他の質問」  
○「農業について(農業振興)」



山口県東部農業共済組合田布施総合支所

り、山口県でも平成23年度から協議に入ると聞く。町としてはこれまでど

おり、田布施総合支所の存続を強く要望して行く。

人口減少

対策を問う

高川 喜彦

少子化対策と若者定住 長信町長



高川 喜彦 議員

**Q** 国勢調査速報値によれば本町は15,984人で平成17年10月の国調より303人減少した。人口動態は為政者の「通知表」と思う。人口が減少するような町をつくってはいけない。本町の人口減少の主な原因は何か。今後の人口政策を尋ねる。

**A** 人口動態から推測すると特殊な要因を除いて少子高齢化により死亡者が

常に出生者数を上回る状況が続いている。また、ここ数年、転入者より転出者が上回るようになったことが人口減少の原因と思われる。少子化対策と若者定住に努める。



平成 22 年 6 月操業開始した摂陽明正(株)山口工場 (麻郷運輸)

税及び社会保障

町民の負担を問う

高川

負担率 2 ~ 3%増

町長

**Q** 今日、ガソリン、灯油などの価格や小麦、砂糖など食料品などの高騰が報じられている。こうした時、町民の所得に対する町民税や所得税、固定資産税等の税負担と国保税、介護保険料等の社会保障費の負担率はいくらになるか。

【参考資料】

租税・社会保障費の町民負担率試算（年収別）

（試算条件）

- ・夫婦と子供2人（うち1人は特定扶養者）の世帯
- ・固定資産税の額は償却資産を除いた平均税額
- ・国民健康保険と国民年金に加入

		平成 23 年度		
年 収 額		300 万円	500 万円	700 万円
租 税 負 担 額	所 得 税	39,000 円	134,500 円	364,500 円
	個 人 住 民 税	36,000 円	191,000 円	368,000 円
	固 定 資 産 税	79,000 円	79,000 円	79,000 円
	小 計	154,000 円	404,500 円	811,500 円
社 会 保 障 費 負 担 額	国民健康保険税	338,900 円	503,700 円	670,700 円
	医 療 分	211,900 円	313,500 円	421,800 円
	支 援 分	65,300 円	96,100 円	128,900 円
	介 護 分	61,700 円	94,100 円	120,000 円
国民年金（2人分）	小 計	362,400 円	362,400 円	362,400 円
	小 計	701,300 円	866,100 円	1,033,100 円
合 計		855,300 円	1,270,600 円	1,844,600 円
負 担 率		28.51%	25.41%	26.35%

※負担率については、一定条件を設定した上での試算です。

**A** 標準的なケースを夫婦と子供二人の世帯のうち一人は特定扶養者として国民健康保険、国民年金加入者で、固定資産税は償却資産を除いた平均税額として、あくまで参考数値として3パターン試算した。（別表参照）負担率はいずれも平成21年より2〜3%増えている。

総合計画の達成

縦割行政は限界では

高川

部内協議を進めたい

町長

**Q** 第5次総合計画が絵に書いた餅にならないように、計画達成に向けて推進体制も整える必要があるのではないか。

縦割行政では限界があり、各課を総合的、横断的に計画、施策、推進していくことが重要。総合政策推進部門課等が

**A** 行政に求められる住民ニーズや行政課題、施策は急速に拡大、複雑化するとともに、高度な専門性も求められてきている。住民サービスの向上と効率的、効果的な行政運営を実行するため機構や仕組みを構築し、町政全体の整合性を図り、部内協議を進めたい。

必要ではないか。



### 23年度予算案

## 編成上の意志を質す 藤山 巖

### 確実に実行する予算 長信町長



藤山 巖 議員

**Q**平成23年度当初予算案は、一般会計が総額54億8900万円で対前年度比マイナス6.9%の減額予算である。長信町政にとって二期目の実質実行予算であると共に第5次総合計画の実施予算でもある。予算編成に当たり、町長自身どのような意志で編成したのか。

**A**二期目を担うに当たり「財政の健全化」「農業の再生」「安全安心のまち

づくり」など、5つの目標を掲げ予算化した。予算は単年度予算として構築するもので、総合

計画と整合性は必要だが、平成23年度事業を確実に実行していくことを考慮して編成した。



平成23年度予算書

### 火災警報器

## 補助制度で普及促進を 藤山

### 助成は考えていない 町長

**Q**消防法の改正で住宅火災警報器の設置が義務付けられ、その期限が5月31日迄となっている。昨年12月現在の本町の普及率は38%で県平均の51.8%に比べ極めて低調だ。高齢者が増え続ける昨今、補助金制度を設けてでも普及を図る必要があると考えるがどうか。

**A**住宅火災警報器の設置促進については今後東消防署と連携し、又広報等を通じて設置促進に取り



火災警報器のパフレット

組みたい。確かに日常生活用具給付や災害要援護者対策の一環として、高齢者や障害者世帯に購入助成を行っている自治体もあるが、本町では設置助成等は考えていない

### 高齢者いきいき館

## なぜ、独立運営急ぐ 藤山

### 苦情等から判断した 町長



高齢者いきいき館

**Q**「地域交流館」から「高齢者いきいき館」を分離独立運営にする計画がある。独立運営することに

より年間370万円余の多額の予算計上を余儀なくされている。何故「高齢者いきいき館」を地域交流館から分離運営しなければならぬのか、急を要する事業か。

**A**「地域交流館」への委託管理のメリットはあるが「高齢者いきいき館」本来の目的達成に限界がある。又、使用面で町民からの苦情やトラブルもあることから、「高齢者いきいき館」の分離独立運営は時期的に今であると言う判断の許で進める。理解をいただきたい。



### 傍聴記

# 田布施」に熱い論戦

## 東日本大震災・福島原発事故勃発

3月定例会初日の9日、21人が議会を傍聴されました。その中から5人の方に傍聴記をいただきました。



久しぶりの議会傍聴に参加しました。議員さんの人数も減り、真剣に町政に携わっておられる姿を見、感服しました。議員さん達の質問では、

### 上水道運営の見直しは大切

城南 宇智田富美子

私どもが知らなかった事がいろいろわかりました。特に、上水道の運営の見直しは町民にとっては、一番大切なことだと感じました。

普段はあまり気にしていなかった高い水道料金、大切な水の使い方、を考え、行政に負担を掛けられないようにしなければならぬと思いました。

また、田布施町も人口減少が問われた中、地域の活性化に向けての協議など真剣になさられています。財政困難な時にこそ、舵取り役の町長さん、それを見定める議員さん、そして町民の私達は、住み良い町にする為に努力し、協力し合っていきたいものだと思います。

### 電源交付金は原発受容金か

蓮輪 加治 康子

2月下旬に「電源立地地域交付金」の配分額が報道され、「これは原発を黙って受容しなさいと

いうことか」と不安な気持ちになっていました。議会でも、このことを3名の方が質問事項に取

り上げておられました。交付金に対する考え方・配分額・町民の理解・地域活性化のための有効利

用・危険予測等々について尋ねるものでした。真剣なやり取りでしたが、町長としては、第5次総合計画にもあるように、安心、安全の田布施を、ここでは力説するしかなかったようでした。



電源立地地域対策交付金の配分が発表されたばかりという時期的なこと

もあってか、この質問が複数の議員さんよりありました。問題の多岐に亘る時に一人位に絞る方法

はとれないものでしょうか。平素から動き、自ら調査し活動なさる方と、そうは思えないような議員

### 原発関連の質問一人に絞れないか

本町 小松 節子

さんのあることを質問と答弁から感じました。町長さんの掲げられる「美しく豊かな町づくり、住みよい町たぶせ」にむけて子どもから特に高齢者の生活手段を町民の代表である議員さんにはしっかりと考え、議論していただきたいと思えます。



## 安心安全で 「住みよい」 傍聴の2日後に

3月9日には、お忙しい中にもかかわらず3月定例会初日の本会議を熱心に傍聴され、その上ご依頼した傍聴記を快くご承

### ご寄稿 ありがとうございます

引くださいまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。お蔭をもちまして本紙に花を添えていただくこ

とになり、充実したものになったと喜んでおります。議員一同は常日頃住みよいまちづくりのために最善を尽くしてまいります。ごうした機会に皆様の率直なご感想やご提言をいただいで真摯にこれ

を受けとめ、決意を新たにしているところです。さて、次の6月定例会は、6月14日から開催され、同日一般質問が行われる予定です。ぜひ多くの皆様の傍聴をお待ちしています。(編集部一同)

婦人会の一つの行事として、今回も3月9日に議会を傍聴させていただきました。一般質問に上関原発関



連に対して質疑応答がありました。なんとなく「ああ、なるほどなあ」と納得してました。いま思えば本当に納得していたんだろうか。というの

も、2日後に東日本大震災それにより福島原発事故が発生し住民に避難勧告がだされました。もしこれが上関であったらと思うと人ごととは思われ

ません。絶対安全、想定外という事はないと思います。これを教訓に少しでも多くの方が議会を傍聴され町民一人一人が町政と一体となり住みよい田布施になるよう真剣に取り組んでいただければと思います。

ある議員夫人の話によると議会が近くと個室に籠もり、集めた資料と真剣に対峙されるそうです。本日も町民の安全安



心住みよい田布施の為に熱い論議が交わされました。中でも財政上の無駄を削減する意見が出されました。現在5150t

の不要な水が出ているという問題は見直す必要があるということでした。最近では節水を呼びかける広報車が走らなくなり

### 山積する課題に焦点

長田 杉山 裕子

十分な水が確保され良かったと思っていました。その他地球環境にもつながる浄化槽水質検査や火災報知器、高齢者の移動手段の確保等山積する諸問題に焦点が当てられました。

### 他人事と思えない福島原発事故

尾津東 松葉 妙子

# 「恐ろしいねえ原発」



國永美恵子

東京電力福島第一原発の事故は深刻な状況が続き、放射能汚染が広がっている。原発事故の早い収束を願うばかりである。

3月11日に発生した東日本大震災。自然災害は突然に、一瞬に、日々の生活を一変させた。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

自然の事象は予測不能が有り想定外はない。想定出来ないから自然の脅威を感じると思う。国はクリーンで安全と原発を推進してきたが、安全神話は崩れ、この事故を世界中が注視している。国は今、エネルギー政策を根本から見直すべきだと考える。

# 平和に生きて



河内 賀寿

最近「太平洋の奇跡」というサイパン島の激戦の実話映画を鑑賞した。食べ物がなかったり、バタバタと死んでいったり悲しいシーンの連続でした。平和に生きていけて、おなかいっぱい食べられる事がいかに幸せか再認識しました。そんな折、テレビから東日本大震災の

ニュース。先ほどの言葉がそのまま当てはまるような悲惨な映像。国民皆がほぼ同じ気持ちで画面を見つめたのではないのでしょうか。今後の支援にどのようになれるか。そして、亡くなられた方々のご冥福をお祈りしつつ、一日も早い復興を願います。

## 議員リレー随筆

## 議会だより108号を読んだ感想です

M・Mさん (60歳代男性)

厳しい情勢の中、財政健全化のための施策が随所で感じられます。住みよい町、田布施が実感できる町政をお願いします。定例会一般質問では8人の議員が19事項について質問され、かつてない数の議論が展開されている。議員の真剣さと議会の充実感を感じます。

第五次総合計画の素案が提示されています、今後10年間の田布施町を担うべき重要課題です、責任をもって施策に取組むことを期待します。

編集後記は実に楽しい季節感や風情、話題性から地域の小さな歴史までも絡ませる、最後に展望を入れて完成、感動です。

K・Kさん (60歳代男性)

この度の定例会一般質問は密度の濃い質問が多かった様に思います。二期目の町長の町政の所信を「町の将来像を笑

## 編集後記

東日本大震災は未曾有の大災害となりました。謹みて犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災され日々難渋されている被災地の皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。加えて福島第一原子力発電所の事故が発生し、収束の見通しもたたないまま日が経っています。大震災の復旧・復興と原発事故収束の一日も早いことをお祈りいたします。

本町でも大震災の被災者への義援金や救援物資がたくさんの町民の皆様

い町にしたいものです。議員リレー随筆は必ず拝読しています。議員さんの趣味や人生観が伝わってきます。この随筆はたのしみになっています。これから議員さん全員で町の為に頑張ってください。風邪に気を付けて下さい。

から寄せられ、県を通じて被災地へ送られました。報道によれば国内各地はもとより、世界の各地の皆さんが心こもるお見舞いととも被災地はじめ日本国へ温かい物心両面の激励を寄せられているとのこと、その善意に感動いたします。新しい議会構成により、本紙の編集委員も新メンバーになりました。「わかりやすい広報」をテーマに、町民と町政をつなぐメディアとしての役割を全うできるよう最善を尽くします。本号には傍聴記や本紙のモニターの皆様からご厚くお礼申し上げます。